

# 「豊かで暮らしやすいまち 丸亀」をめざして

みなさんいかがでしたか？自分たちの住むまちが、どんなまちづくりをすすめているかわかりましたか？

丸亀市には、豊かな自然はもちろん、歴史、文化などたくさんの魅力があります。

それを未来につなぐためには、

みんなと一緒にこの丸亀市をつくるのが大切です。



## 私たちのまちを一緒につくりましょう！

丸亀のいいところを、セカイへ発信

**マルカメラ**

上記の掲載写真は、市の公式Instagram  
「マルカメラ(#marucamera)」に  
投稿されたものです。

M A R U G A M E

こども版  
第二次丸亀市総合計画

豊かな未来を一緒につくりましょう

発行：丸亀市市長公室政策課  
〒763-8501 丸亀市大手町二丁目3番1号  
TEL:0877-24-8839(直通)  
FAX:0877-24-8860  
発行：2018(平成30)年3月

香川県  
丸亀市

2018  
2025

みんなの  
好きな丸亀市を  
どれだけ知っているか  
試してみよう！

豊かな暮らしを  
実現するには  
どうしたらいいのだろう？  
身近なことから  
考えてみよう！

豊かで暮らしやすいまち 丸亀

M A R U G A M E

第二次丸亀市総合計画 こども版

日々の生活のなかで幸せを実感できる「豊かで暮らしやすいまち 丸亀」をめざして—  
総合計画は、めざすまちの姿を描き、その実現のためにどのように取り組んでいくのかを示したものです。  
一緒に私たちのまちの未来について考えてみましょう。

# 豊かで暮らしやすいまち 丸亀

たくさん子どもたちの元気な声に囲まれ、市民一人ひとりの活力が満ちあふれ、

いつまでも安心して健康に暮らせるまちをめざして—

これからの丸亀市がすすめるまちづくりは、

日々の生活のなかで幸せを実感できる「豊かで暮らしやすいまち 丸亀」。

心が満たされ、楽しく、快適に暮らすことができるまち、そして、

市民の誰もが主役となり、自分らしく、いきいきと輝くまち。

そんなまちを、みんなでつくりましょう。



## 未来の姿 5つの基本方針

「豊かで暮らしやすいまち」の実現をめざして、5つの観点からまちづくりをすすめます。

クイズを  
解きながら  
一緒に考えて  
みましょう。

I → 3ページ II → 4ページ III → 5ページ IV → 6ページ V → 7ページ



### 基本方針のポイント

子どもを安心して産み育てることができ、健康で心豊かな子どもが育つ丸亀市をめざします。

## I 心豊かな子どもが育つ

**Q** 丸亀市では、市内に住む子どもたちが県内の病院を利用した場合の費用(医療費)を助成しています。それは何歳まででしょうか？

- A 小学校に入学するまで
- B 小学校を卒業するまで
- C 中学校を卒業するまで



答え:C  
以前は満7歳まででしたが、平成26年4月からは中学校卒業までとしており、基本的に自己負担の費用が無料になっています。(※入院時の高額療養費など一部を除きます)  
病気になったとしても、いつでも安心して病院で受診できるようにすることで、丸亀の子どもたちが健やかに成長できることを願っています。

**Q** 丸亀市の学校給食には、地元丸亀産の野菜や果物が使われています。それは何%くらいでしょうか？

- A 10%
- B 15%
- C 20%

答え:B  
地元農家の方たちは、子どもたちに安全で安心な給食を食べてもらえるように、野菜の栽培など工夫や努力を重ねています。  
地元農産物の良さや、食糧事情などについて学び、生産者への感謝の気持ちを大切にしたいと思います。



みんなも一緒に  
やってみよう!

- 登校するときに、会おう地域の人にあいさつをしよう!
- 学校で食べている給食の食材を調べてみよう!



### 基本方針のポイント

住んでいる人が、  
安全で安心して、  
快適に暮らせる丸亀市を  
めざします。

## II 安心して暮らせる

**Q** 丸亀市では、地震  
が起こった場合  
でも建物が倒壊しないよう  
に、学校などの公共施設  
の耐震化を行っています。  
市内の小中学校が耐  
震化できている割合はい  
くらでしょうか？

- A** 80%
- B** 90%
- C** 100%



答え：C  
平成24年度では約80%でしたが、平成28年度末で、幼稚園・保育所・こども園も含めて100%となっています。  
子どもたちが安心して学校生活を送れるための環境整備を、最優先に取り組んでいます。



### 基本方針のポイント

多くの人でにぎわい、  
地元で働くことができ、  
市内の企業が元気な  
まちをめざします。

## III 活力みなぎる

**Q** 丸亀市の産業で、働く人の数が  
一番多いのはどれでしょう？  
(平成26年時点)

- A** 製造業
- B** 卸売業・小売業
- C** 医療・福祉

答え：A  
問題にあげた業種以外にも、たくさんの方が丸亀市で働いています。  
近い将来、自分が何の仕事をするのか考える時が訪れます。丸亀市にどんな会社があるのか知ってもらうために、中学生を対象とした「産業教育」の取組などを進めています。



**Q** 今後30年以内に発  
生すると言われてい  
る「南海トラフ地震」の発生  
確率はいくらでしょうか？

- A** 50%~60%
- B** 70%~80%
- C** 90%以上



答え：B  
これまで70%程度とされていましたが、今年1月に70%~80%に引き上げられました。最大クラスの地震が発生した場合、丸亀市の最大震度は6強と予想されています。  
家具などの転倒防止対策をすれば、死傷者は4分の1程度に低減できるとされており、丸亀市でも家具転倒防止器具の購入費用の助成を行っています。  
地震など災害が起こった場合にどう行動すればよいか家族と話し合しましょう。

**Q** 飯山地区の特産品である  
桃を生産する農家は、市内  
にいくつくらいあるでしょう？

- A** 70戸
- B** 170戸
- C** 270戸



答え：B  
毎年約700トンが収穫され、九州を中心に出荷されています。丸亀の桃をたくさんの人に食べてもらうために、新たな販路を開拓する取組も行っています。  
とれたてのおいしい桃が食べられる幸せは、丸亀ならではの。



みんなと一緒に  
やってみよう!

- 自転車の安全運転など、交通マナーについて考えてみよう!
- 地域の防災訓練に参加しよう!



みんなと一緒に  
やってみよう!

- 丸亀市にどんな仕事があるか調べてみよう!
- 市外の人に丸亀市の良いところを紹介してみよう!



### 基本方針のポイント

子どもから高齢者まで、  
すべての市民が  
元気で暮らせる  
まちをめざします。



### 基本方針のポイント

みんなで一緒になって、  
楽しみやいきがいをもち  
暮らせる  
まちをつくります。

## IV 健康に暮らせる

## V みんなでつくる

Q 丸亀市内に住む65歳以上のお年寄りの割合は、約何%でしょう？

- A 17%
- B 22%
- C 27%

答え：C  
平成12年(2000年)頃までは、20%未満でしたが、平成27年で27.4%と、4人に1人以上の割合となっています。  
丸亀市では、いくつになっても元気に過ごせるように、市民の健康づくりを応援しています。  
また、丸亀市がいつまでも元気なまちであり続けるためには、子どもたちも含めて若い世代の人口が増えていくことがとても大切です。



Q 日本には多くのお城が存在しましたが、廃城や焼失でそのほとんどの天守が失われ、昔に築かれたままの状態である現在まで残っているお城は、全国で12城しかありません。そのうちの一つである現在の丸亀城天守は、何時代に築かれたでしょう？

- A 室町時代
- B 安土・桃山時代
- C 江戸時代

答え：C  
1597年に生駒氏が築城を開始し、1602年に完成しました。その後、1615年の一国一城令により廃城となりますが、1643年に山崎氏が再築し、1660年の京極氏の時代に現在の天守が完成したと言われています。  
「石の城」と形容されるほど、石垣の名城として全国的に有名であり、昨年1年間に丸亀城天守へ訪れた観光客は12万人を超えています。



Q 生活習慣病は、大人がなる病気である。

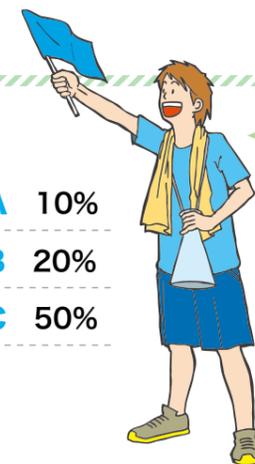
○か×か？



答え：×  
生活習慣病は毎日の悪い生活の積み重ねが原因となる病気で、最近では子どもの生活習慣病も問題となっています。  
睡眠は十分にとれていますか？食事のバランス、適度な運動に気を付けていますか？  
丸亀市では、子どもたちの生活習慣病対策として、小学生などの予防健診に取り組んでいます。

Q 平成30年で72回目の開催となった「香川丸亀国際ハーフマラソン大会」。今では毎年1万人以上のランナーが参加していますが、そのうち県外や国外の参加者の割合は、どれが近いでしょう？

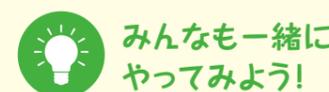
- A 10%
- B 20%
- C 50%



答え：C  
ランナーの半数近くが県外・国外からの参加で、丸亀市がにぎわう一大イベントとなっています。  
過去には高橋尚子選手や、野口みずき選手などオリンピックの金メダリストも参加しており、市民にとって誇りとなる大会です。



- みんなで一緒に体を動かすことに取り組んでみよう！
- 地域で困っている人がいたら、声をかけてみよう！



- 丸亀市の歴史を勉強してみよう！
- 地域の行事に参加してみよう！